

税理士試験に合格するための学校 [テキスト] 法人税法Ⅱ【平成28年度版】(2015年12月29日 初版 第1刷)

弊社の書籍をご利用いただき、有難うございます。

訂正が出ないようにと努力しておりますが以下の通り、誤りが判明致しました。

お手数をおかけして申し訳ございませんが訂正の上、ご利用下さい。

なお、弊社HP【「ネットスクール」検索→「読者の方へ」】にて訂正資料等の最新情報を閲覧・ダウンロードできますので、ご利用下さいますようお願いいたします。

2016. 5. 20

ページ	訂正箇所	誤	正	備考
17-34	設例2-5(3)①当社及び②A社の表中	<ul style="list-style-type: none"> ・① 当社 区分欄「一括評価金銭債権の額」、事業年度欄「平25.4.1～平26.3.31」の金額 296,400,000円 ・① 当社 区分欄「一括評価金銭債権の額」、事業年度欄「平27.4.1～平28.3.31」の金額 285,200,000円 ・② A社 区分欄「一括評価金銭債権の額」、事業年度欄「平27.10.1～平28.9.30」の金額 213,900,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ・① 当社 <u>364,000,000</u>円 ・① 当社 <u>273,600,000</u>円 ・② A社 <u>205,200,000</u>円 	2016. 5. 16
17-35	設例2-5解答(2)※2、(3)、(4)、(5)の算式及び(6)表中の金額	<ul style="list-style-type: none"> ・(2)※2 $\frac{296,400,000+320,400,000+297,600,000+223,200,000+285,200,000+213,900,000}{1,000}=1,626,700,000$円 ・(3) $300,000,000 \times 0.043 = 12,900,000$円 ・(4)② $(285,200,000 - 12,900,000) \times \frac{10}{1,000} = 2,723,000$円 ③ ①<② ∴ <u>2,723,000</u>円 ・(5) $7,000,0000 - 2,723,000 = 4,277,000$円 ・(6) 加算欄「金額」及び「留保」<u>4,277,000</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・(2)※2 $\frac{364,000,000+320,400,000+273,600,000+223,200,000+240,300,000+205,200,000}{1,000}=1,626,700,000$円 ・(3) $285,200,000 \times 0.043 = 12,263,600$円 ・(4)② $(285,200,000 - 12,263,600) \times \frac{10}{1,000} = 2,729,364$円 ③ ①<② ∴ <u>2,729,364</u>円 ・(5) $7,000,0000 - 2,729,364 = 4,270,636$円 ・(6) 加算欄「金額」及び「留保」<u>4,270,636</u> 	2016. 5. 16
17-46	側注*02)上から6～7行目	～基準日の <u>前日</u> までの期間に～	～基準日までの期間に～ (下線部を削除)	2016. 5. 16
17-60	側注*01)上から7～8行目	～基準日の <u>前日</u> までの期間に～	～基準日までの期間に～ (下線部を削除)	2016. 5. 16

ISBN978-4-7810-3546-8

C1034 ¥3200E